

リーダーシップ経験は効果大 行動面でもアピールしていいこう

——就活時期になると、「リーダー」経験をアピールする人がやたら増えるといわれていますが、それについてはどう思われますか？

坂本 リーダーシップがある人を求める会社が多いことは事実です。志望企業においてリーダーシップが必要かどうか確認したうえでのアピールならいいと思います。たとえば2年目以降は部下をもつとか、子会社の人や外部スタッフに指示を出したりするとか。企業で求められる資質には理由があるので、その理由を知ると、どんなアピールが重要なのが見えてきます。

——やはりリーダー経験があると強いんですね。

坂本 ただ、そういった経験がない人も多いと思います。その場合は役職としてのリーダーではなく、リーダーシップを発揮した経験や行動をアピールしましょう。自分が率先して周りのお手本になるような行動をしたとか、みんなにプラスの影響を与えた行動は立派なリーダーシップ経験です。

——過去の経験を思い返して、そういった行動がひとつでもあればアピールしていくべきなんですね。

坂本 ありがちなのがアルバイトの経験ですが、たとえリーダーという役職についていなくても、2年目になって複数の後輩に指示を出すなどしていれば、これは立派なリーダーシップ経験といえます。サークルでも後輩がいるわけですから、後輩との接し方を思い出せば、リーダーシップ経験が見つかると思います。リーダー職についていなくても、リーダーシップを発揮した行動はしているはずなんです。

——「そんなの自己PRにしてもしょうがない」と考えずに、小さな経験でもアピールすべきですね。